

2019年5月29日
日本土地建物株式会社

5フロア約2,730㎡エリア最大級のオープンイノベーションオフィス 「SENQ 六本木」開業

オープンイノベーションの促進に向け、ベンチャー企業の成長に対する支援を強化

日本土地建物株式会社（千代田区霞が関一丁目 代表取締役社長 平松哲郎）は、オープンイノベーションオフィス「SENQ（センク）」の第4弾となる「SENQ 六本木」を5月30日に開業します。

また、ベンチャー企業に対する支援をより一層進めていくため、シードアーリーステージのB2B テックスタートアップ支援に特化したアーキタイプベンチャーズ有限責任事業組合が運営するVCファンドにLP出資を実行するとともに、アーキタイプベンチャーズ株式会社（以下「ATV社」）とパートナーシップを構築しましたので、お知らせいたします。



◆主なポイント

1. 「CHANGE THE THEORY」を施設テーマとし、会員向けの豊富な協業・事業創造サポート体制を有する六本木エリア最大級2,730㎡のオープンイノベーションオフィス
2. 築40年のオフィスビルをリノベーションし、洗練されたヴィンテージテイストがコミュニケーションや協業を誘発するワークプレイスとして再生
3. オープンイノベーションの促進に向け、VCファンドに対する出資及びATV社とのパートナーシップ構築を通じ、ベンチャー企業の成長に対する支援を強化

1. 「CHANGE THE THEORY」を施設テーマとし、会員向けの豊富な協業・事業創造サポート体制を有する六本木エリア最大級 2,730 m²のオープンイノベーションオフィス

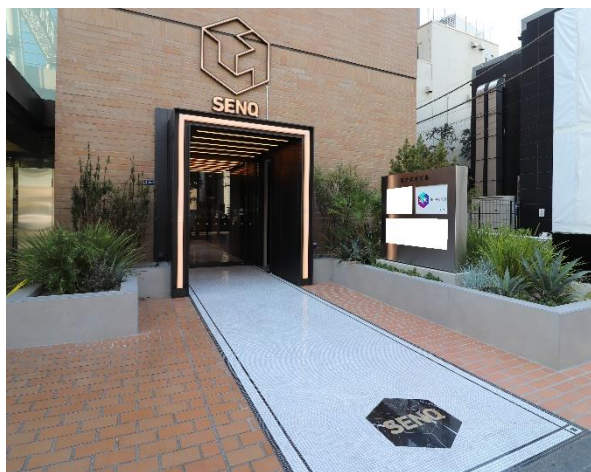
SENQ 六本木は、東京メトロ日比谷線、都営大江戸線「六本木」駅徒歩1分という好立地にエリア屈指の約 2,730 m² (約 826 坪) の規模で誕生するオープンイノベーションオフィスです。

SENQ 各拠点では地域特性に応じたテーマを設定しており、SENQ 六本木の施設テーマは、「CHANGE THE THEORY」。さまざまなビジネス・情報・エンターテインメントが融合する六本木において、これまでの既成概念や常識を覆すような革新的なサービスやプロダクトの創出の場となることを目指します。

SENQ では、2016 年の京橋・青山・霞が関の 3 拠点開設以降、メンター、アライアンスパートナー、パブリックパートナーといった企業・団体 66 社 (2019 年 5 月 20 日時点) と提携し、会員の事業成長を支援しており、これまでに SENQ を通じて複数のオープンイノベーションが創出されています。

SENQ 六本木においても、セミナーやイベント開催などを通じ、会員同士の交流支援に加え、ベンチャー・スタートアップ (※1) と大手企業などによる協業や事業創造をサポートします。

これまでの SENQ のサポート体制などをご評価いただき、SENQ 六本木においては、新規のお問い合わせに加え、既存の SENQ 各施設入居者からの事業拡大に伴う入居のご関心を複数頂戴しております。



エントランス



「六本木」駅徒歩1分の好立地

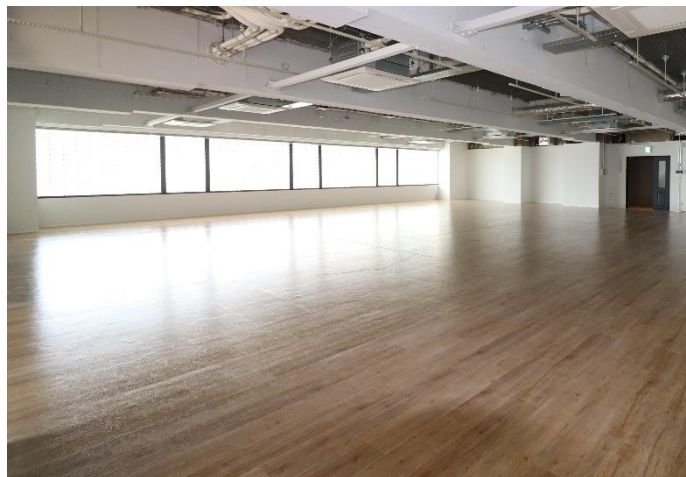
2. 築40年のオフィスビルをリノベーションし、洗練されたヴィンテージテイストがコミュニケーションや協業を誘発するワークプレイスとして再生

SENQ 六本木がオープンするのは、築40年の歴史を持つオフィスビル「新六本木ビル」。当社の豊富なノウハウを活かしたリノベーション工事を通じて、40年という年月が醸し出す温かな雰囲気は大切にしながらも、洗練されたヴィンテージテイスト漂う空間とすることで、会員同士が活発にコミュニケーションや協業を実現できるワークプレイスを創出しました。

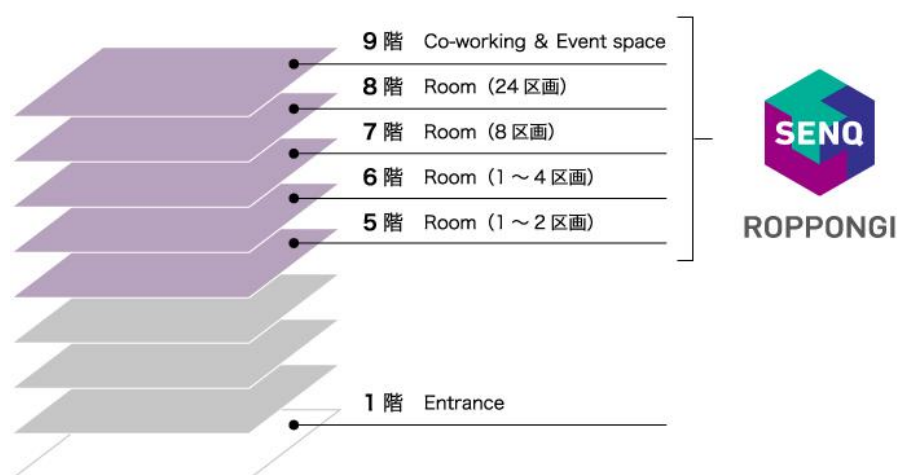
ルーム（個室）は、入居者の多様なオフィスニーズに応えられるよう、約10㎡（約3坪）から約600㎡（約180坪）までの豊富なバリエーションを用意。また、すぐに入居が可能な家具付きルーム、こだわりのあるレイアウトや内装を造り込めるルームなど、フレキシビリティを確保するとともに、入居者のオリジナリティを表現できる空間を提供します。



会議室

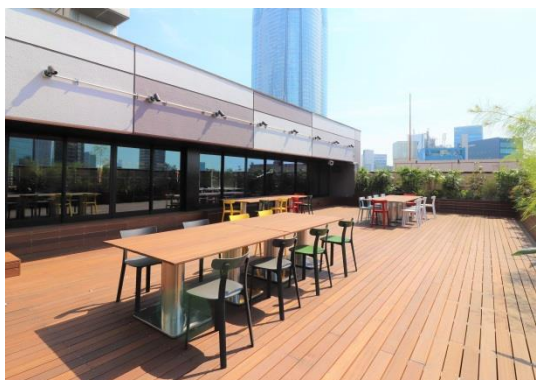


5階ルーム



最上階の9階にはコワーキングスペースに加え、開放的なスカイテラスを設置。コワーキング会員はもちろん、ルーム会員も利用可能であり、ゲストとの打ち合わせなど利用シーンにあわせてワークプレイスを選ぶことができます。

コワーキングスペースは、会員同士やパートナー企業との交流、イベントを開催する場としても機能します。



スカイテラス



コワーキングスペース

3. オープンイノベーションの促進に向け、VC ファンドに対する出資及び ATV 社とのパートナーシップ構築を通じ、ベンチャー企業の成長に対する支援を強化

当社は、SENQ の運営で培ったノウハウや実績を活かし、SENQ 六本木の開業を機に、ベンチャー企業の成長に対する支援を一層強化します。具体的には、アーキタイプベンチャーズ有限責任事業組合が運営する B2B (※2) テックスタートアップを投資対象とする VC ファンド (アーキタイプベンチャーファンド 2 号投資事業有限責任組合) へ LP (※3) 出資を実行するとともに、ATV 社とパートナーシップを構築いたしました。

豊富なベンチャー支援実績やノウハウを有する ATV 社とのパートナーシップを通じ、SENQ 入居者への事業面・資金面でのサポート体制を一層強化するとともに、オープンイノベーションの促進に向けて、SENQ 入居者を中心とするベンチャー企業への直接出資も視野に、ベンチャー企業との協業や提携を推進してまいります。

(1) ATV 社概要

名 称	アーキタイプベンチャーズ株式会社
代 表 者	中嶋 淳、福井 俊平
設 立	2013 年 12 月 12 日
業 務 内 容	ベンチャーキャピタル事業 ・ シードアーリーステージ (※4) の B2B テックスタートアップ特 化型ファンドを運営、事業会社とのコネクションを活かした Business Development によるバリューアップが特長

(2) アーキタイプベンチャーファンド2号投資事業有限責任組合概要

名 称	アーキタイプベンチャーファンド2号投資事業有限責任組合
設 立	2018年2月20日
投 資 対 象	企業や社会の課題をテクノロジーで解決する B2B スタートアップ
投 資 期 間	10年（最長で2年間の延長有り）
運 営 者	アーキタイプベンチャーズ有限責任事業組合
特 徴	・ シードアーリーステージの B2B テックスタートアップに特化 ・ 積極的な経営支援や企業連携関与により投資先を支援

(3) ATV 社とのパートナーシップの主な内容

- ①ATV 社との連携のもと、SENQ におけるオープンイノベーションの深化
- ②ATV 社による、SENQ 会員様へのメンタリング・アドバイスの実施
- ③ATV 社との連携のもと、当社とベンチャー企業との協業の推進 等

- ※1 スタートアップ：新たなビジネスで成長を目指す企業。
- ※2 B2B：Business to Business の略で、企業を相手に事業や取引を行うこと。
- ※3 LP：Limited Partner の略で、有限責任組合員の意味。投資事業有限責任組合等の出資者。
- ※4 シードアーリーステージ：企業の成長ステージに関する区分のうち、起業準備段階から事業が軌道に乗るまでの時期を指す区分。

■リノベーション工事概要

1. 敷地概要

計 画 名 称	新六本木ビルリノベーション計画
所 在	東京都港区六本木七丁目 15 番 7 号
敷 地 面 積	1,439.38 m ² (435.41 坪)
用 途 地 域	商業地域
交 通	東京メトロ日比谷線、都営大江戸線 「六本木」駅徒歩 1 分

2. 建物概要

構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造
規 模	地下 1 階 地上 9 階 塔屋 2 階
用 途	事務所、店舗、駐車場
竣 工 年 月	1978 年 7 月
延 床 面 積	7,501.18 m ² (2,269.11 坪)
基 準 階 面 積	595 m ² (180 坪)

■「SENQ 六本木」施設概要

名 称 / テ ー マ	SENQ 六本木 / CHANGE THE THEORY
所 在	東京都港区六本木七丁目 15 番 7 号 新六本木ビル 5~9 階
部 屋 数 ・ 席 数	個室 36 室、コワーキング 50 席
そ の 他 機 能 ・ 設 備 (一 部 有 料)	有人受付、Wi-Fi 環境 (9 階ラウンジのみ)、 LAN、フォーンブース 2 室、貸会議室 3 室、 複合機、ポスト・ロッカー、フリースタック

■スケジュール

2018 年 12 月下旬	リノベーション工事着工
2019 年 5 月 14 日	リノベーション工事竣工
2019 年 5 月 30 日(予定)	「SENQ 六本木」オープン

■SENQ ブランドの概要

SENQ は「先駆」に由来し、時代の先駆けとなるイノベーターたちを応援するブランドです。ロゴを構成する色彩豊かなパーツは、多様な業界から集まる「先駆者（会員）」を象徴し、パーツの組み合わせにより形成されるキューブは、新しい可能性を引き出す立体的なビジネスのつながりにより、オープンイノベーションを加速させる場を表現しています。



「SENQ」は、①拠点ごと（現在、京橋、青山、霞が関の3拠点）にテーマを設定し、②拠点内や拠点間における会員同士の交流やマッチングなどを支援、さらに③メンター及びアライアンスパートナー、パブリックパートナーといったパートナー企業・団体との連携を兼ね備えた国内初のオープンイノベーションオフィスです。また、セミナー、ピッチイベントなどの開催により、会員の協業や事業創造、事業成長を支援します。

■「SENQ パートナー」について

1. メンター

会員からの様々な相談に対して、事業に関する課題解決や事業成長につながる助言やメンタリングを行います。

2. アライアンスパートナー

会員からの依頼に対して、協業などの可能性を検討します。

3. パブリックパートナー

国・官公庁・自治体などが就任し、協業候補先の紹介やイベントの共同開催、各自治体などのインキュベーション施設との連携を目指します。

■SENQ ブランドサイト <https://senq-web.jp>

■SENQ 六本木特設サイト <https://www.senq-web.jp/lp/roppongi.html>

【ニュースリリースに関するお問い合わせ】

日本土地建物株式会社

経営企画部広報室 鈴木・吉富

TEL03-3501-6906 FAX03-3506-8940